

「もうひと言」に思いを込める

校長

私たちが普段何気なく使っている言葉は、ほんのひと言で人を喜ばせたり、励ましたり、あるいは悲しませたり、傷つけたりする力をもっています。後者のような乱暴な言葉や思慮を欠いた言葉を遣うことは、慎んでいかなければなりません。

一方で、前者のような人を前向きにする言葉について考えてみると、それは決して「普段口にしないような特別な言葉」という訳ではありません。いつも使っている言葉でも、相手に配慮して少し言い方を変えたり、思いを込めたひと言を添えたりすることで、その言葉を受け取る人の気持ちは大きく変わることがあります。

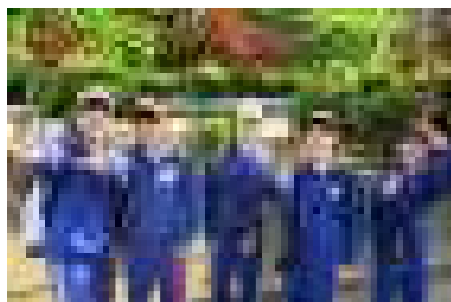
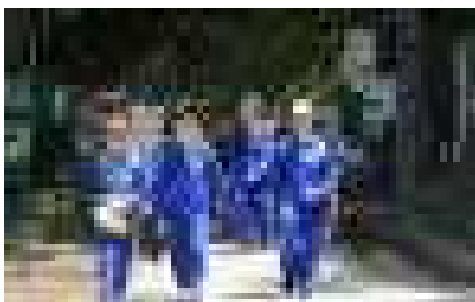
例えば、相手から親切にされたとき、「すみません」としか言うのではなく、その後に「とても助かりました」といったひと言を付け加えるだけで、ずいぶんと印象がよくなります。それは、「すみません」の後のもうひと言に、言った側の心遣いが込められているからではないでしょうか。こうした「温かい心が込められた言葉」が、受け取る側の心に温かさや安らぎを与えてくれるものと感じています。

最近、生徒同士で、乱暴な言葉を遣っている場面に出くわすことがあります。知らず知らずのうちに相手を傷つけてはいないか、心配になります。言葉は、育った環境に大きく左右されると言われています。田上中学校の生徒が、「温かい心が込められた言葉遣い」を心掛け、学校生活の向上、そして、社会に出たときの言葉遣いの基礎を築いてくれることを願っています。

～ 5月11日(金) 校外学習 ～

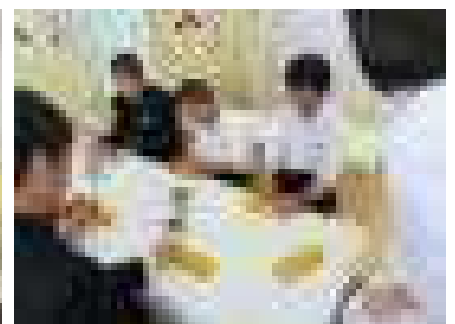
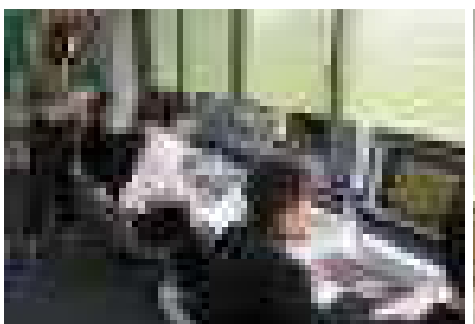
1年生:ウォークラリー

よりよい仲間づくりを目的に、班で協力しながら田上町内でウォークラリーを実施しました。



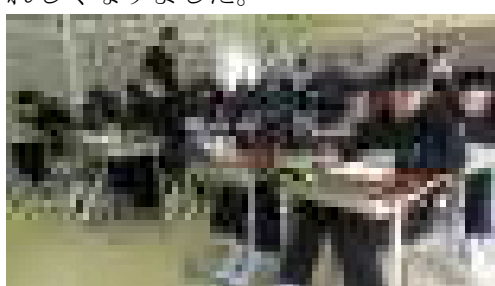
2年生:上級学校訪問

将来の進路を考える目的で、電車とバスを利用し、新潟市内の専門学校等を訪問してきました。

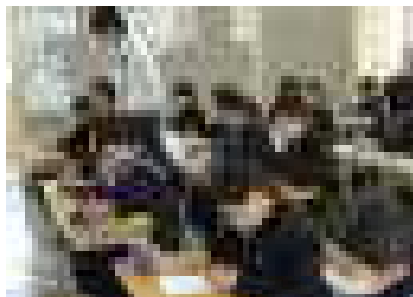


《1年生の授業参観》

P T A総会が、4月21日（土）に開かれました。当日は5時間目に、全学級で道徳授業の公開も行いました。多くの保護者の方から見に来ていただき、感謝申し上げます。1年生は入学して約半月、緊張感をもって、真剣に学習に取り組んでいました。また、一人一人の笑顔に自信が感じられ、私自身とてもうれしくなりました。



1年1組



1年2組



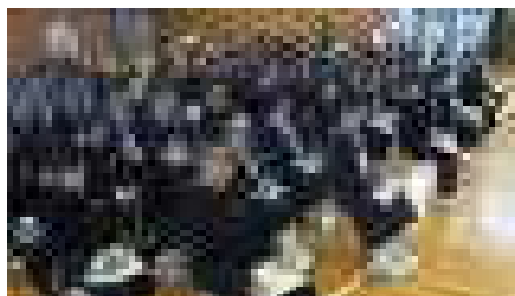
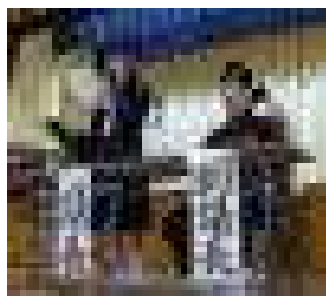
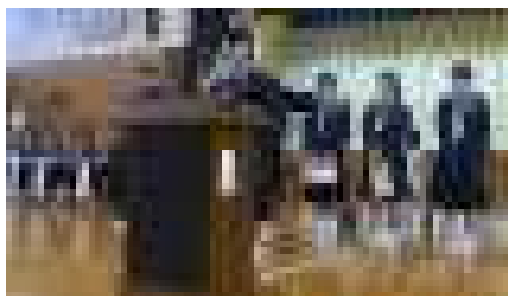
1年3組

《前期生徒(校友会)総会》 「全力前進 ～ 仲間とともにつかむ未来 ～ 」

5月17日（木）、前期生徒総会が行われました。私語がない厳粛な雰囲気の中、生徒会総務の活動基本方針を受け、各専門委員会、各部活動が活動計画等の説明を行いました。その後、生徒からたくさんの質問が出され、全会員で今年度の校友会活動について確認し合いました。生徒は自分事として受け止め、活発で盛り上がった生徒総会となりました。今年度の校友会の重点目標は、次のように決まりました。

〈重点目標（目指す姿）〉

- ①**意識**：生徒一人一人が、学校のルールや無言清掃をすることによって、よい意識を高める。
- ②**あいさつ・返事の向上**：あいさつと返事を向上させることにより、明るく、笑顔のあふれる田上中学校を目指す。
- ③**絆**：朝会でレクリエーションを行い、学校全体の絆を深め、いじめゼロにつなげる。



校長講評の中で、アメリカのリンカーン大統領の言葉を借り、「school of the students, by the students, for the students」という英語を紹介し、「生徒の生徒による生徒のための学校」を目指し、みんなががんばっていきましょと呼びかけました。生徒は真剣に話を聴いてくれました。「ルール意識の高い学校、笑顔あふれる学校、そして、いじめを見逃さない・許さない学校」になるよう、生徒といっしょに取り組んでいきます。